

Z世代アイデアコンテスト伴走支援業務委託(公募型プロポーザル) 質問に対する回答書

No.	質問	回答
1	Z世代アイデアコンテスト実施に向けた相談および応募件数の増加につながる施策は、本プロポーザルの評価対象外でしょうか？	申請に先立つ相談会の実施方法や、プレゼンテーションの指導、実行支援につながる伴走・相談対応の方法・体制など、より若者に自由な発想や提案を応募してもらうための施策は評価項目としておりますので、施策があればご提案ください。
2	Z世代アイデアコンテスト実施に向けた相談および応募促進に向けて、昨年度の事業HPを継続して利用する予定でしょうか？	昨年度(R6年度)の事業WEBサイトは、アーカイブとして継続して公開します。(参考： https://www.city.kitakyushu.lg.jp/page/shin_zidai/index.html) 今年度(R7年度)のWEBサイトは、別途作成する予定です。
3	実地コンテストの審査員にお支払いする謝礼金額について基準はございますか？	市の規定に準じた額を予定しています。 昨年度の審査員への報酬は、おひとり10,500円です。 (旅費宿泊費は別途実費相当)
4	採択者の実行支援における事務局・メンター・アドバイザーそれぞれの期待役割について想定はございますか？ 特に、事務局と分けてメンターを派遣する意義について気になっています。	仕様書4(3)ア「コンテスト採択者の実行支援をするための対応を行うこと」では、2つの項目で実行支援を行っていただくものとしています。 (ア)採択者からの相談対応等 (イ)実践的な視点で助言することができるアドバイザー・メンターの派遣 (ア)については、常に採択者に寄り添って仕様に記載している事項を中心にご対応いただくことを想定。 (イ)については、採択者の取組テーマに関してより実践的な視点で助言することができる方の派遣を想定しています。 現時点で採択者の取組テーマが未定であるため、役割分担を決めることはできかねますが、採択者の実行支援に資する内容は本プロポーザルの評価項目としておりますのでご提案ください。
5	本事業の認知度向上やブランディングに資する広報施策は、本プロポーザルの評価対象外でしょうか？	仕様書5(6)「Z世代アイデアコンテストにかかる情報を掲載するための特設サイト開設、若者からの申請数を増やすためのSNS広告は本仕様には含まない。」としているため、それら広報施策は本プロポーザルの評価対象外となりますが、それ以外の項目で、認知度向上やブランディングに資する内容があればご提案ください。
6	事務局の詳細な要件があればご教示願います(物理的な窓口の用意、対応時間、電話番号等の連絡手段など)	業務運営計画として人管理体制をプロポーザルの評価項目としていますので、若者のチャレンジを支援し、本プロジェクトを効率的に進めていくための体制をご提案ください。
7	相談会の詳細な要件があればご教示願います(回数、手段、集客方法など)	相談会の実施方法は本プロポーザルの評価項目としておりますので、若者に若者に自由な発想や提案を応募してもらうための工夫などをご提案ください。

8	審査員の詳細な要件があればご教示願います(人数、役職、出身など)	審査員は昨年度同様「4名」を想定しています。 「自らが既成概念にとらわれず、チャレンジを続けている者」であれば役職・出身については指定ございません。
9	応募を促すためSNS等での発信が必要となった場合、北九州市様へ依頼・相談することは可能でしょうか？	北九州市公式SNSでの投稿やSNS広告は、市で実施する予定です。
10	書面審査の具体的な評価基準があればご教示願います(および評価基準の決定方法等)	書面審査の具体的な評価基準は、契約事業者と市で協議の上決定することを想定しております。
11	「配置予定者の同種業務実績」は会社名ではなく個人名で提出すべきでしょうか？	お見込みのとおりです。